

## 研究実施のお知らせ

山梨大学医学部では、下記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（実験データ）の研究利用について、以下に公開いたします。

研究の題名：健常者疑似前十字靭帯損傷モデルにおける着地時予測外事象への適応様式

研究期間：医学域長の許可日～2023年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部社会医学講座 教授 山縣 然太郎

### 【研究の目的と意義について】

この研究の目的は、前十字靭帯損傷者の筋肉の機能異常を再現した健康な方の太ももの筋肉が、予測外の着地動作でどのような活動をするかを調査することです。

これにより得られた結果は、前十字靭帯損傷者で発生しやすい筋力低下の原因の一つを解明する手がかりになる可能性があり、将来的にはより質の高い新たなリハビリテーション指針の作成に繋がります。

### 【研究の方法について】

既存情報の提供機関により行われた実験のデータを本研究にて分析していきます。

本研究では、着地前の筋活動データを期分けし、前十字靭帯損傷者の筋肉の機能異常を再現する前と後で比較します。それによって予測外事象が発生した際の着地動作における前十字靭帯損傷者の筋活動の特徴を調べます。

### 【利用する情報について】

〈対象となる方〉

2020年4月1日から2021年6月30日の間に既存情報の提供機関（国立病院機構甲府病院）にて研究名「Copersの適応能力を踏まえたリハビリテーション戦略の開発を目指して」（国立病院機構甲府病院倫理審査委員会承認R2-5）における実験に参加した健常被験者

〈利用する情報・項目〉

情報：実験データ

なお、この研究で使用するデータは、既存情報の提供機関で行われた実験データを匿名化した状態で提供を受けるため、改めて参加者の方に行っていただくことはありません。

### 【情報を利用する者の範囲について】

この研究は、以下の既存情報の提供機関より既存情報の提供を受けて実施いたします。

この研究で使用する情報は、すべて同機関において実験により入手し、匿名化されたデータです。

既存情報の提供機関及び提供者

国立病院機構甲府病院 院長 萩野 哲男、特命副院長 落合 聡司

**【資料情報の管理】**

山梨大学医学部社会医学講座 教授 山縣 然太郎

**【利用に関する対応】**

研究対象者の方は、本研究についての質問等を研究責任者にすることができます。ただし、匿名化されたデータとなっていますので、個別に利用の制限等を行うことは困難です。

**【研究対象者もしくは代理人の方の問い合わせ方法】**

本研究に関するお問い合わせは、メール又はファックス等の文書でお願いいたします。

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

メール：zenymgt@yamanashi.ac.jp（山縣 然太郎）

ファックス：055-273-7882